



クラス通信



木田幼稚園
令和6年5月号

5月を振り返ると今年も記録的な暑さが予想され、後半には30度を越える真夏日もありました。暑い日は水分補給と十分な休息、ミストファン、熱中症測定器を活用しお子様とともに園庭での戸外活動を楽しみます。

ー全体での活動ー

- ・食育実践活動 さつま芋（紅あずま）・野菜の苗植え

10日にさつま芋（紅あずま）、24日に野菜の苗植えを行いました。野菜の種類はトマト（とってもアイコ）・なす（くろぷり）・きゅうり（フリーダム）・ししとう（満作）を植えました。

今後、水やり、草取り、収穫、試食を通して五感を養い、野菜が苦手なお子様も思わず手に取り食べたくなるように大切に育てていきます。

- ・内科検診

23日に園医、はせ川外科・内科の長谷川和也先生に内科検診をしていただきました。

年少組、きりん組のお子さんは少し緊張しながらも無事に検診を終えました。

先日配布した健診結果を踏まえ、かかりつけ医または園医への受診をお願い致します。

ークラスごとの活動ー

- ・ほし組

今月何よりも楽しみにしていたことはデイサービスうららに行き、地域のおじい様、おばあ様と交流する事です。

「先生、早くうららに行きたいね」「肩たたきにお歌のプレゼント...喜んでくれるかな?」と期待に胸を膨らませていました。

当日、全員のお子さんがうららに出掛け歌「めだかのがっこう」の披露、「あくしゅでこんにちは」に合わせての触れ合い遊びや、肩たたきを行いました。うららのおじい様、おばあ様が日頃より取り組まれているリハビリの内容で、ロケットに見立てたラップの芯を投げ、カラーペットボトルを倒すレクリエーションにも一緒に参加させていただきました。

「おじいちゃん、おばあちゃんに会えて楽しかった!」「次は何をしようかな?」とたくさんのおこぼれの声が聞かれました。

お子さんが製作した折り紙「つばめとあやめ」、うららの皆様の手作り「ネックレス」のプレゼント交換をしました。
うららでの交流を通して「いたわりの心」を大切に育てていきます。



・ペンギん組

5月より専任講師の先生による指導が始まりました。年中組になり王先生による中国語の指導が始まりました。「中国語って何だろう」と未知の言語に期待でいっぱいのお子さん達。初回は「你好（ニーハオ）」の挨拶から始まり、数の数え方を手遊びを取り入れながら、教えて頂きました。「この発音で大丈夫かな？」と不安気に小さな声だったお子さん達にも指導をしていただき、出来た時は笑顔で「棒棒你真棒（バンバンニーチェバン：すごい）」と声をかけていただく事で次への意欲に繋がっています。これからも楽しみながら、中国語の正しい発語を学んでいける様、取り組んでいきます。



・りす組

新入園のお子さんもしっかり園生活に慣れて、「一緒にブロックしよ！」「おままごとで遊ぼ！私はお母さんね」「ダンゴ虫見つけたよ！」とお子さん同士の会話も増えています。5月より専任講師による指導がスタートしました。年少組から始まった英会話の初回では、セバスチャン先生と一緒に皆が笑顔で元気いっぱい英単語の発音をしたり、体を動かしながら、歌を歌ったりと楽しみました。又、英語であそぼうを通して日常の保育や食事にセバスチャン先生と一緒に参加しながら、コミュニケーション能力も身に付けていきます。



・きりん組

お子さん達は少しずつ園生活に慣れ笑顔も沢山見られる様になりました。今、お子さん達の1番の楽しみは「おやつ」です。「先生、おやつ食べる？」「アンパンマンのクッキーある？」「ゼリーがいいなあ」と楽しい会話をしながら自分のロッカーからコップを持ってきたり、お皿を並べたり…と自分たちで取り組む姿が見られます。「手はお膝で待ちましょう」「ご挨拶言えるかな？」「うがいに行く時はいすを机の下に入れてからよ」「ゴミはゴミ箱に入れてね」等のお約束も1つ1つ身につけています。

